

11月のまちの話題

厚真の特産物でピザ作り

厚真中学校の1年生が厚真の特産物を使った新製品を考案

11月13日、厚真中学校（渋川賢一校長）の1年生が厚真町の特産物を使ったピザ作りを行いました。これは、「厚真の特産物をピザでPR」地域の特産物を使った新製品を考案しよう」をテーマに、町の特産物を利用し、自分たちで意見を出し合っ課題を解決し、さまざまな考えや立場を理解しながら周りに働きかける力を養うことを目的に、総合的な学習の時間の一環として行われたもの。

調理実習では、厚真町の米粉で作った生地の上に、特産物のハスカップや厚真鶏、ジンギスカン、豆腐（雪ほたる）などを使い、各グループで考えた具材を組み合わせたピザ作りに挑戦。生徒たちは、先生からアドバイスを受けながら協力してピザ作りを行っていました。完成したピザは、試食時の反省点を生かして、味付けや具材のバランスを変えたり色合いを良くしたりなどの改善を行い、細かなところまで工夫された出来上がり。その後行われたブレゼン・試食品評会には、来賓のほか1年生の保護者も参加。生徒たちは、レシピの工夫点などを写真やイラストを用いて説明し、自分たちが考案したピザを一生懸命PRしていました。



みんなでピザ作り。どんなピザが出来上がるかな？

最強塾所属の上村幸生くん(上厚真小3年)が空手で全国大会へ出場



全国大会優勝目指して頑張ってるね！

空手道最強塾に所属の上村幸生くん（上厚真小学校3年生）が、11月14、15日に国立代々木競技場第一体育館（東京都）で開催される「第9回JKJ〇全日本ジュニア空手道選手権大会」に出場が決まり11月9日、指導員の近藤大河さんとともに役場を訪れ、宮坂町長へ全国大会出場の報告を行いました。

「家族のみんなを守りたい」と、小学1年生から空手を始めたという上村くん。今回は、春に行われた「フルコンタクトチャレンジ北海道」の小学3年男子重量27kg以上で準優勝を果たし、同階級への全国大会の出場権を獲得しました。

昨年に続き、2度目となる全国大会出場に宮坂町長は「ぜひ、全国大会で成果を上げて頑張ってきてください」と激励。練習に加え、積極的に大会に出場して試合勘を養ってきたという上村くんは「目標は優勝です」と力強く話していました。



社会福祉協議会での贈呈の様子

田んぼのオーナーへ収穫米を引き渡し

11月21日、町観光協会の「平成27年度田んぼのオーナー・収穫米引き渡し」が本郷地区のサンマルゴ（町観光協会事務所）で行われ、苫小牧市や千歳市、札幌市などから28組・約40名が訪れ、収穫米を受け取りました。

今年は、稲刈り前の台風や大雨などの天候不良もあり、収穫量は1区画（1㍍）あたり玄米で47kg（前年比-12kg）、精米で42.3kg程度となりました。リピーターのオーナーからは「収穫量が減って残念」という声もありましたが「来年に期待します」という方も多くいました。



小納谷さんからお米を受け取るオーナー

厚真ライオンズクラブがフェイスタオルを寄贈

厚真ライオンズクラブ（兵頭利彦会長、32人）が11月27日、町内の団体へフェイスタオルを寄贈する「タオルボランティア」を実施しました。

これは、昨年から道内の各ライオンズクラブが取り組んでいる活動で、厚真ライオンズクラブも昨年に引き続き実施したもの。当日は、兵頭会長と佐藤秋夫前会長、高橋茂幹事らが厚真町社会福祉協議会とグループホームえがおの家の2団体を訪問し「役立ててください」と、合計350枚の新品のフェイスタオルを代表者へ手渡しました。

ヒグマを知ろう！ヒグマの勉強会



ヒグマについての勉強会が11月6日、総合ケアセンターゆくりで開かれました。

当日は、道内各地でヒグマの対策事業を実施している早稲田宏一さんを講師に招き、ヒグマの生態や痕跡の特徴、移動する範囲などについて、具体的なデータを見ながら説明が行われました。

また、勉強会では、1歳程度の小熊や、体重300kg程度の雄のヒグマの毛皮や乾燥したフンなども示され、参加者は興味深そうに入っていました。



冬期間も事故に注意！セーフティコール

冬の交通安全運動の実施に伴い11月11日、厚真町交通安全協会（池川義厚会長）による「セーフティコール」が、苫小牧信用金庫前交差点で実施されました。

当日は、町内の各団体や事業所などから約80人が参加。「飲酒運転の撲滅」「交通安全」「シートベルト着用」などと書かれたのぼりを手に持ち、約1時間にわたって道路の両脇に立って道行くドライバーに交通安全を呼びかけました。



女性消防団員らが独居老人宅へ防火査察

11月8日からの防火査察を前に11月2日、胆振東部消防組合厚真消防団女性消防（山口真由美班長の団員らが町長室を訪れ、胆振東部消防組合管理者である宮坂町長へあいさつを行いました。女性消防は、毎年手作りの啓発グッズを携えて一人暮らしの高齢者宅を訪問し、啓発活動を行っています。今年はメッセーjカード入りの小物入れを作製し、12月5日まで3回にわたり約90世帯を訪問し、火災予防を呼びかけました。

正解のない問題を考える 厚高1年生が防災授業

11月19日、厚真高校（岡本研校長）で1年生を対象に防災授業が行われました。当日は、町防災アドバイザーの定池祐季さんを招き「生き抜く力を高めるためにくらしの中に防災を」と題し講演。定池さんは、東日本大震災や今年9月の関東・東北豪雨の被災地でのインタビューを紹介後、正解のない問題に対して最善の答えを考える「クロスロード」というゲームを行い、生徒たちに普段からの防災対策の大切さを説明していました。

お遊戯や歌や劇を楽しく頑張ったよ！



こども園つみき



町内のこども園・保育園で 発表会・お遊戯会

11月中・下旬、町内のこども園、保育園で発表会・お遊戯会が行われ、園児たちがお遊戯や歌などを披露しました。

11月14日は宮の森保育園(佐藤秋夫園長)のお遊戯会が、21日はこども園つみき(宇佐美修一園長)の発表会、また、さくら保育園(金光朋充園長)のお遊戯会が行われました。

保護者や地域の方などたくさんの方が見守る中、園児たちは元気いっぱいにお遊戯や歌を発表。数カ月前から練習を重ねて本番を迎えた子どもたちの頑張りに、会場から大きな拍手が送られていました。



宮の森保育園



さくら保育園



まちの話題 plus

将来の生き方や職業選択について学ぶ 厚真中学校2年生が職業体験



消防署で職業体験を行う生徒

11月12日・13日の2日間、厚真中学校(渋川賢一校長)の2年生が、役場や消防署、町内の事業所等で職業体験学習を行いました。

これは、総合的な学習の時間「進路学習」の一環として、将来の生き方や職業選択について幅広いものの見方を育成することを目的に実施しているもの。

役場で情報発信や広報の仕事を経験した妹背桃苗さんは「細かなところまで説明してもらい、とても分かりやすかったです。文章の書き方は、学校の学習でも役立つので参考にしたいと思いました。なかなかできない体験ができて、とっても良かったです」と感想を話していました。

※左の写真は、広報業務の実習で妹背さんが撮影したものです。

東京で厚真町をまるごと紹介

10月31日から11月1日まで、東京駅前JPタワーKITTEを会場に、厚真の移住・定住相談や「ふるさと厚真応援寄附金」の案内、特産品のPR・販売など町のすべてを紹介する「北海道あつま町まるごとフェア」が開催されました。会場では、あつまるくんが登場して厚真町に関するクイズ大会が開催されたほか、特産品500円以上のお買い上げでさくら米のすくい取りやジャガイモ詰め放題も行われ、来場者から人気となっていました。今回のフェアには2日間で1,500人以上の方が足を運び、持ち込んだ特産品もほぼ完売となりました。



あつまるくんと一緒にクイズに挑戦する来場者

効率的・効果的な林業経営を目指して

11月17日、国立研究開発法人森林総合研究所北海道支所と下川町(協力・厚真町)主催による「先進機械を活用した伐採・造林一貫システムによる低コスト人工林管理技術開発講演会・現地検討会」が開催され、道内外から林業関係者ら約30人が参加しました。

現地検討会では、新しい造林システムであるクラッシュ地拵え実演を町有林で実施。その後、会場を総合ケアセンターゆくりに移し、森林総合研究所員による伐採と造林一貫システム報告が行われ、低コスト・高生産性を図るための事例発表に参加者は熱心に聞き入っていました。



研究事例報告に熱心に聞き入る参加者

今年も健闘！ゆるキャラ®グランプリ

ゆるキャラたちの1年に一度のお祭り「ゆるキャラ®グランプリ2015」の結果が11月23日、静岡県浜松市で開催された「ゆるキャラグランプリ2015 in 出世の街浜松」で発表され、厚真町公式キャラクターあつまるくんは、全国1,727体(海外、企業枠を含む)の中で総合374位(ご当地部門では250位)となりました。

今年は、昨年の総投票数4,381ポイントをはるかに超える7,543ポイントを獲得しました。たくさんの応援や投票へのご協力ありがとうございました！



たくさんの応援と投票
ありがとうございました！
あつまるくん